

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年1月31日

【四半期会計期間】 第42期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 幼児活動研究会株式会社

【英訳名】 Youji Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山下 孝一

【本店の所在の場所】 東京都品川区西五反田二丁目11番17号

【電話番号】 03 (3494) 0262 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 川口 弘之

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区西五反田二丁目11番17号

【電話番号】 03 (3494) 0262 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 川口 弘之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第41期 第3四半期 連結累計期間	第42期 第3四半期 連結累計期間	第41期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	4,005,680	4,154,006	5,446,157
経常利益	(千円)	622,798	545,018	750,838
四半期(当期)純利益	(千円)	350,068	308,888	406,515
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	352,491	387,259	479,663
純資産額	(千円)	3,426,993	3,934,376	3,569,965
総資産額	(千円)	5,558,302	6,011,439	5,917,193
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	64.89	56.40	75.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	62.60	53.39	72.02
自己資本比率	(%)	61.7	65.4	60.3
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	449,287	215,775	707,433
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	74,988	54,965	99,518
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	114,120	106,763	146,353
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,878,112	4,243,473	4,079,496

回次		第41期 第3四半期 連結会計期間	第42期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	23.12	23.77

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 平成25年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,154百万円（前年同四半期比3.7%増）、経常利益545百万円（前年同四半期比12.5%減）、四半期純利益308百万円（前年同四半期比11.8%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、正課体育指導契約件数及び課外体育指導会員数が堅調に増加した結果、前年同四半期比3.7%増となりました。

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの従業員数は、幼児体育指導関連事業で467人、コンサルティング関連事業で5人、全社共通で19人、グループ全体で491人（前年同四半期比10.1%増）となっております。前第3四半期連結会計期間末における従業員数は、幼児体育指導関連事業で421人、コンサルティング関連事業で6人、全社共通で19人、グループ全体で446人でした。

当第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、56円40銭、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、53円39銭となりました。前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、64円89銭、前連結会計年度における1株当たり当期純利益は、75円26銭です。

当第3四半期連結累計期間における年率換算した自己資本利益率は、11.0%となっております。前連結会計年度における自己資本利益率は、12.2%でした。

（なお、当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。文中に記載している1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。）

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

幼児体育指導関連事業

正課体育指導の実施会場数は前連結会計年度末の909園から24園増加し、当第3四半期連結会計期間末は933園となりました。このうち、YYプロジェクトに基づく正課体育指導の会場数は、前連結会計年度末の202園から、当第3四半期連結会計期間末は1園減少して201園となりました。

また当第3四半期連結会計期間末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、912カ所54,562名となりました。前連結会計年度末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、868カ所51,899名です。課外体育指導の会員数は、前連結会計年度末の会員数に対して5.1%増となっております。

これらの結果、幼児体育指導関連業務に係る売上高は、3,883百万円（前年同四半期比4.3%増）、セグメント利益は485百万円（前年同四半期比14.8%減）となりました。

コンサルティング関連事業

コンサルティング契約件数は、前連結会計年度末の291件から、当第3四半期連結会計期間末は290件となりました。このうちYYプロジェクトに基づくトータルサポート契約件数は242件となっております。

これらの結果、コンサルティング関連業務に係る売上高は、270百万円（前年同四半期比4.7%減）、セグメント利益は41百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,011百万円となっており、前連結会計年度末に対して94百万円の増加となりました。流動資産は前連結会計年度末に対して0百万円の減少、固定資産は同94百万円の増加となっております。

流動資産については、現預金およびマネー・マーケット・ファンド（有価証券として計上）の増加63百万円、繰延税金資産の減少66百万円等により、前連結会計年度末に対して0百万円減少しております。

固定資産については、インフラ基盤整備のための設備投資により有形固定資産が前連結会計年度末に対して11百万円増加し、投資有価証券が時価の上昇により同121百万円、保険積立金が同14百万円増加しましたが、減価償却により有形固定資産が前連結会計年度末に対して26百万円、無形固定資産が同19百万円減少したため、固定資産は、前連結会計年度末に対して94百万円の増加となっております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,077百万円となっており、前連結会計年度末に対して270百万円の減少となりました。その要因は、前受金が前連結会計年度末に対して62百万円、退職給付引当金が同75百万円増加したものの、未払法人税等が同201百万円、賞与引当金が同116百万円、長期債務（長期借入金残高と社債残高の合計）が同84百万円、それぞれ減少したためです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金等の増加により3,934百万円となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前第3四半期連結累計期間末より365百万円増加し、4,243百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果生じたキャッシュ・フローは、215百万円の収入となりました（前年同四半期は449百万円の収入）。これは、営業利益530百万円、減価償却費45百万円、運転資本の変動47百万円、運転資本以外の資産及び負債項目の変動 26百万円、税金等の支出 395百万円、等に因るものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果生じたキャッシュ・フローは、54百万円の収入となりました（前年同四半期は74百万円の支出）。これは定期預金の解約による収入100百万円、インフラ基盤整備のための設備投資21百万円、生命保険契約に係る支出14百万円等に因るものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは、106百万円の支出となりました(前年同四半期は114百万円の支出)。これは、ストック・オプションの行使に伴う資本金等の増加12百万円、長期借入金の返済及び社債の償還による支出84百万円、配当金の支払いによる支出35百万円等に因るものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき事業上及び財務上の課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想は、下記に示すとおりです。

平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	5,650	570	570	310	56 84
(参考)前期実績 (平成25年3月期)	5,446	747	750	406	75 26

当社は、平成25年10月1日で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益につきましては、株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年1月31日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,490,000	5,490,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	5,490,000	5,490,000	-	-

(注) 平成25年8月9日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、発行済株式総数は4,117,500株増加し、5,490,000株となっております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日	4,117	5,490		447,910		299,827

(注) 普通株式1株につき4株の割合で分割しました。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,371,500	13,715	単元株式数は100株
単元未満株式	普通株式 900		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	1,372,500		
総株主の議決権		13,715	

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 幼児活動研究会株式会社	東京都品川区西五反田 二丁目11番17号	100		100	0.01
計		100		100	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,877,521	2,840,940
売掛金	163,739	173,018
有価証券	1,301,974	1,402,532
商品	4,718	3,499
貯蔵品	1,758	687
繰延税金資産	110,419	44,339
その他	37,811	32,174
貸倒引当金	1,327	1,320
流動資産合計	4,496,616	4,495,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	100,689	95,263
工具、器具及び備品(純額)	51,234	41,916
土地	258,597	258,597
有形固定資産合計	410,521	395,778
無形固定資産	115,508	102,899
投資その他の資産		
投資有価証券	179,190	300,960
保険積立金	288,924	303,197
繰延税金資産	280,710	264,297
投資不動産(純額)	85,648	85,648
その他	60,073	62,785
投資その他の資産合計	894,546	1,016,889
固定資産合計	1,420,576	1,515,567
資産合計	5,917,193	6,011,439
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,045	98,912
未払金	113,952	95,725
未払費用	39,411	31,728
1年内返済予定の長期借入金	72,000	72,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	276,846	75,368
前受金	7,215	69,373
賞与引当金	206,400	89,789
その他	83,424	94,864
流動負債合計	966,295	687,760

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
社債	180,000	150,000
長期借入金	66,000	12,000
退職給付引当金	884,433	960,006
役員退職慰労引当金	250,498	267,295
固定負債合計	1,380,932	1,389,301
負債合計	2,347,228	2,077,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,610	447,910
資本剰余金	293,527	299,827
利益剰余金	2,757,852	3,031,292
自己株式	241	241
株主資本合計	3,492,747	3,778,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,217	155,588
その他の包括利益累計額合計	77,217	155,588
純資産合計	3,569,965	3,934,376
負債純資産合計	5,917,193	6,011,439

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,005,680	4,154,006
売上原価	2,728,077	2,918,839
売上総利益	1,277,603	1,235,166
販売費及び一般管理費	658,481	704,902
営業利益	619,121	530,263
営業外収益		
受取利息	241	149
受取配当金	2,041	11,590
受取賃貸料	527	416
受取手数料	3,966	4,248
その他	838	1,551
営業外収益合計	7,615	17,956
営業外費用		
支払利息	3,274	2,450
不動産賃貸原価	663	661
その他	0	90
営業外費用合計	3,937	3,202
経常利益	622,798	545,018
特別損失		
投資有価証券売却損	3,324	-
特別損失合計	3,324	-
税金等調整前四半期純利益	619,474	545,018
法人税、住民税及び事業税	260,889	197,036
法人税等調整額	8,515	39,093
法人税等合計	269,405	236,130
少数株主損益調整前四半期純利益	350,068	308,888
四半期純利益	350,068	308,888

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	350,068	308,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,422	78,371
その他の包括利益合計	2,422	78,371
四半期包括利益	352,491	387,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,491	387,259
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	619,474	545,018
減価償却費	37,823	45,860
退職給付引当金の増減額(は減少)	74,330	75,572
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	11,300	16,796
賞与引当金の増減額(は減少)	76,500	116,611
貸倒引当金の増減額(は減少)	658	6
受取利息及び受取配当金	2,283	11,740
支払利息	3,274	2,450
投資有価証券売却損益(は益)	3,324	-
売上債権の増減額(は増加)	4,673	9,278
商品の増減額(は増加)	1,200	1,218
貯蔵品の増減額(は増加)	671	1,070
その他の流動資産の増減額(は増加)	8,061	8,244
仕入債務の増減額(は減少)	13	8,133
前受金の増減額(は減少)	51,314	62,157
その他の流動負債の増減額(は減少)	2,540	12,874
その他	1,658	1,702
小計	732,163	601,448
利息及び配当金の受取額	2,383	11,781
利息の支払額	2,447	1,789
法人税等の支払額	282,812	395,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,287	215,775
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	24,944	21,946
無形固定資産の取得による支出	37,454	4,159
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,782	-
その他	18,371	18,928
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,988	54,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	54,000	54,000
社債の償還による支出	30,000	30,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,900	12,600
配当金の支払額	35,020	35,363
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,120	106,763
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	260,178	163,977
現金及び現金同等物の期首残高	3,617,934	4,079,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 3,878,112	¹ 4,243,473

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 該当事項はありません。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更 該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
(会計方針の変更) 該当事項はありません。
(会計上の見積りの変更) 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
現金及び預金	2,676,332千円	現金及び預金	2,840,940千円
有価証券	1,301,780千円	有価証券	1,402,532千円
計	3,978,112千円	計	4,243,473千円
預入期間が3か月超の定期預金	100,000千円	預入期間が3か月超の定期預金	-千円
現金及び現金同等物	3,878,112千円	現金及び現金同等物	4,243,473千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	35,018	26	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	35,447	26	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティン グ関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,722,048	283,632	4,005,680	-	4,005,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,119	36,553	50,672	(50,672)	-
計	3,736,167	320,185	4,056,353	(50,672)	4,005,680
セグメント利益	569,602	45,918	615,521	3,600	619,121

- (注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去3,600千円が含まれております。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティン グ関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,883,826	270,179	4,154,006	-	4,154,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,506	32,124	46,630	(46,630)	-
計	3,898,333	302,303	4,200,636	(46,630)	4,154,006
セグメント利益	485,375	41,283	526,659	3,604	530,263

- (注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去3,604千円が含まれております。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	64円89銭	56円40銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	350,068	308,888
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	350,068	308,888
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,394	5,476
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	62円60銭	53円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(千株)	197	308
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年1月31日

幼児活動研究会株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松 本 保 範 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木 村 尚 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている幼児活動研究会株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、幼児活動研究会株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。